

長野工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	国語ⅠA				
科目基礎情報								
科目番号	0041	科目区分	一般 / 必修					
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2					
開設学科	一般科	対象学年	1					
開設期	通年	週時間数	2					
教科書/教材	(1)教科書:『新精選国語総合 現代文編』明治書院, (2)『新版三訂カラー版 新国語便覧』第一学習社, (3)『テーマ別現代文 ウィニングクリア1』尚文出版, (4)『やればできるシリーズ じっくり身につく現代文1』京都書房, (5)『新入試論議文読解のキーワード300 改訂版』明治書院, (6)『常用漢字ダブルクリア 三訂版』尚文出版(7)国語辞典(新たに購入する必要はない。中学校で使用したものでよい。電子辞書でも可)。*②⑥は国語ⅠBと共に通。							
担当教員	小池 博明							
到達目標								
<ul style="list-style-type: none"> ・平易な論理的文章の構成や要旨をおおむね理解できる。 ・平易な小説の主題をおおむね理解でき、登場人物の心情やものの見方を、表現に即して読むことができる。 ・平易な韻文について、その主題や作品に即したイメージをおおむね理解することができる。 ・基本的な漢字や言葉の意味をおおむね理解できる。 <p>以上を満足することで、A-1に到達する初步的段階の達成と認定する。</p>								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
評価項目1	論理的文章の論理の展開をおおよそ理解し、要旨をほぼ把握することができる。	論理的文章の文意をおおよそ理解することができる。	論理的文章が理解できない。					
評価項目2	文学的文章について、書き手の意図をおおよそ理解することができる。	文学的文章の場面や情景を想像でき、登場人物の心情をおおよそ理解することができる。	文学的文章が理解できない。					
評価項目3	自らの語彙を知的好奇心をもって増やすことができる。	基本的な語彙がおおよそ理解できる。	基本的な語彙力がない。					
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会への対応が希求され、進展する情報化社会の中にあって、国語としての日本語について理解と表現力を育む。 ・現代の論理的文章を学習することを通して、理解力の基礎を養うとともに、語彙や表記法など国語に関する基本的な知識を身につける。 ・近現代の文学作品を読むことを通して、表現に即した鑑賞ができる基礎を養うとともに、語彙を豊かにし、表現力の涵養に努める。 							
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義とそれについての課題を課す。 ・課題は期限に遅れず提出すること。 							
注意点	<p><成績評価> 試験(80%)および課題など(20%)の合計100点満点で(A-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。</p> <p><オフィスアワー> 放課後 16:00 ~ 17:00, 一般科棟3階。この時間にとらわれず必要に応じて来室可。</p> <p><先修科目・後修科目> 後修科目は国語Ⅱ。</p> <p><備考> 意見や感想の表明などは、授業や提出物などで行う。</p>							
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
前期	1週	ガイダンス	授業を受けるにあたって必要な事柄を、理解する。					
	2週	評論1	論理的文章の読解の基礎を理解することができる。					
	3週							
	4週	評論2	論理的文章の基本的構成と展開を理解することができる。					
	5週							
	6週							
	7週							
	8週	これまでの理解度の確認。	これまでの学習内容について理解できている。					
後期	9週	小説1	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現から人物や情景を思い浮かべることができる。 ・作品の構成や展開から主題を考えることができる。 					
	10週							
	11週							
	12週							
	13週	詩	主題や作品に即したイメージを理解することができる。					
	14週							
	15週	俳句	主題や作品に即したイメージを理解することができる。					
	16週	前期末達成度試験						
後期	1週	評論3	論旨を客観的に理解し、要約することができる。					
	2週							
	3週							
	4週	評論4	これまで学習した、論理的文章の読解方法の応用ができる。					
	5週							
	6週							
	7週							

	8週	これまでの理解度の確認.	これまでの学習内容について理解できている.
4thQ	9週	表現 1	原稿用紙の正しい使い方が理解できる.
	10週	表現 2	正確でわかりやすい文章を書く基本を理解することができる.
	11週	短歌	主題や作品に即したイメージを理解することができる.
	12週	小説 2	人物, 情景, 心情などを表現に即して理解することができる.
	13週		
	14週		
	15週		
	16週	学年末達成度試験	

評価割合

	試験	小テスト	平常点	レポート	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	100
配点	80	0	0	0	20	100